

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 大妻女子大学 実施報告書



実施主体 人間福祉学科人間福祉学専攻 精神保健福祉士コース・藏野ゼミ
実施内容 平成25年10月27日の大学祭にて啓発活動、児童虐待防止月間
(11月)の啓発ポスター掲示とメッセージツリーの作成

①事前に取り組んだ内容

児童虐待の実際を調べ、勉強会(3回)を開催した。その上で、大学祭での来場者にどのようなことを伝えるか話し合い、掲示物及びオレンジリボンの作成を行った。また、メッセージツリーを作成し、「誰もがスマイル宣言」というテーマで、各自の虐待防止に対する思いを書いて貰うメッセージカードを作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭会場を回り、来場者にオレンジリボン(400個)とチラシを配布しながら児童虐待の現状をお話した。ブースに来てくださった方には、メッセージツリーの説明も行い、宣言を書いて頂く。台風により1日だけの大学祭となったが、103名にメッセージを書いて頂いた。

また、児童虐待防止月間の11月いっぱい、学部棟内に引き続きメッセージツリーと掲示物を展示し、児童虐待を訴えると共に、大学祭に参加しなかった学生にもメッセージを書いて頂いた。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

児童虐待の実態を学ぶ過程で、将来親になる自分たちが、どのように子どもに関わっていくべきか考える機会となった。

また、福祉専門職を目指す立場としても、もっと知識を持ち、さらに社会の出来事に関心を向けたいと考えられるようになった。メッセージツリーなどを作成する過程で、何人もの先生方が話しかけてくださって、社会問題を話題に話せることが楽しかった。

友人にメッセージを依頼する際、熱く児童虐待の実態の説明をしている自分にびっくりしながらも、友人も熱心に聞いてくれて嬉しかった。

大学祭で、障害を持っている方や高齢の方も積極的に話しかけてくださって、自らメッセージを書いて頂いた。虐待は、児童をはじめ様々な所で起こっている等をお話しすることもでき、感じることや考えることがたくさんあった。

今後、毎年大学祭でオレンジリボン運動をするように後輩にも伝えていきたい。

